

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	特定非営利活動法人 faith to face らばん安来		
○保護者評価実施期間	2024年 12月1 日		～ 2024年 12月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20名	(回答者数) 19名
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2024年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家族とのコミュニケーションを取ることが出来るように家族参加の行事を行っている。	家族会を開き児童の様子を伝えたり、家庭での様子を聞いたりしている。 送迎時、児童の様子を伝えている。	家族参加の企画を考えコミュニケーションをとっていく。 家族参加活動は継続できるように考えていく。
2	月に一度のスタッフ一同のミーティングと毎週初めにミーティングを行っている。	児童1人1人の個性や障がいの特性を理解し、支援のシュミレーションを行い支援を実施している。	研修に参加し知識、理解を深めてスキルアップしていく。 スタッフ全員が情報共有できるようミーティングノートを作る。
3	らばん便りなどを定期的に発行してで子どもの様子や活動を発信している。 毎日ノートに書いて伝えている。	月の活動や行事などがわかりやすく、見えやすいようにしている。 日々のノートもあり施設での様子や出来事を伝えている。	児童とのかかわりの中で気になることがあれば家族に伝え共有していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物が古く、段差があったり階段がらせんで死角がある。	賃貸のため改築は難しい。	修理や改善出来るよう大家さんと相談する。
2	PDCAがあいまいで、出来ていない。	ミーティングはするが評価、改善が中途半端になっている。 実行した後の評価が明確でない。	スタッフ同士のコミュニケーションを大切にしていく。 定期的にミーティングを行うことにより、評価などを改善していく。
3			